

6月初旬に、大動脈弁狭窄症に対する経皮経管大動脈弁形成術(成人では当院2例目)をハイブリッド手術室において循環器内科と心臓血管外科、麻酔科、コメディカルの共同チームで施行しました。

ハートニュース Vol. 14 巻頭言

だんだんと蒸し暑くなってまいりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

新年度がスタートして3ヶ月経ちます。循環器内科、心臓血管外科とも新任の医師がようやく当院の体制になれてきたように思います。

今回は、循環器内科からはカテーテルアブレーションの導入に伴い劇的に変化している心房細動治療に対する抗不整脈薬について、また心臓血管外科からは今後、益々増加するとされる低侵襲心臓手術の当院での取り組みについて報告します。

今後も循環器内科、心臓血管外科一丸となって皆様のご要望に迅速・確実に応えられるよう取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

大阪市立総合医療センター 循環器センター部長

循環器内科部長 成子 隆彦

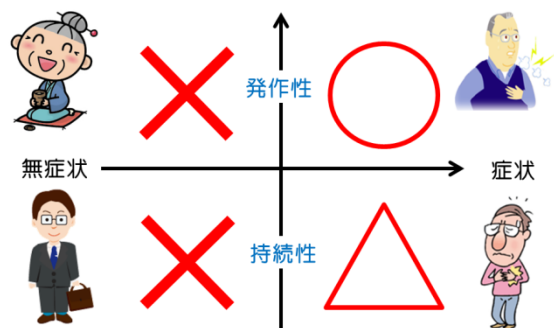
心房細動治療に対する抗不整脈薬（リズム治療薬）について



医長
占野 賢司

アブレーション治療が広まりつつある現状においても抗不整脈薬（リズム治療薬）が心房細動治療の一翼を担っていることには変わりはありません。しかし、リズム治療薬には重篤な副作用（心室頻拍やQT延長など）もあり、症状緩和（生命予後改善効果はない）が使用目的ですので、その使用には十分注意が必要です。実際、明らかに過量投与と思われる場合があります。日本で使用頻度の高いピルジカイニド（サンリズム）とシベンゾリン（シベノール）の初期投与量のお勧めを添付します。ご参照ください。

リズムコントロール薬（I群薬）の適応



ピルジカイニド (mg)

	25	50	75	100	125	150
10						
20						
30						
40						
50						
60						
70						
80						
90						
100						

CCR (ml/min)

シベンゾリン

● 初期投与ノモグラム

腎機能	体重	~50kg	50~70kg	70kg~
		0~9	投与量 25mg/day	
Ccr (mL/min)	10~19	50mg/day	50mg/day	50mg/day
	20~29		100mg/day	100mg/day
	30~39	100mg/day		100mg/day
	40~49	150mg/day	150mg/day	150mg/day
	50~59		150mg/day	200mg/day
	60~69	200mg/day	200mg/day	300mg/day
	70~79		200mg/day	300mg/day
	80~	200mg/day	300mg/day	300mg/day

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	交代制	成子
午後	阿部	松村	吉山	交代制	成子
	占野(ペースメーカー)		松本(2,4,5週)		

※6月の柚木先生の退職に伴い、木曜日はしばらく交代制とさせていただきます。

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子			成子	阿部
午後			占野(不整脈)		

当院におけるMICS（低侵襲心臓手術）手術



医長
高橋 洋介

当院では現在、一定の条件を満たした弁膜症手術や心房中隔欠損症などの患者さんの場合、8 cm位の極めて小さな創で行っています。取り入れている病院がまだ少ない方法ですが十分な準備の後に2013年から開始し、僧帽弁形成術を中心に現在までに40例ほど行っております。

一言でMICSと言っても実はアプローチの方法は多種多様です。胸骨を部分的に切る方法もMICSですし、胸骨を切らずに肋間を切る方法もMICSです。当院のMICS手術は、すべて右もしくは左肋間開胸で行っております。

2015年より大動脈弁狭窄症や閉鎖不全症の患者さんに対して、右の腋窩開胸MICS(創部は脇の下にあり、ほとんど目立ちません。肋間開胸を行います)を導入し、良好な成績を得ております。また、冠動脈バイパス術を左の肋間開胸で行えるようになり、内胸動脈と前下行枝を小さな傷でバイパスし、それ以外はカテーテル治療を行うハイブリッド治療も施行し始めました。

これらのすべての手術は傷が小さい、目立たない利点がありますが、最大の利点は胸骨正中切開をしないので胸骨骨髄炎のriskがないということです。胸骨を切らないので創部痛も少なく早期に社会復帰できるメリットもあります。

経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)が導入され、大動脈弁狭窄症の治療の幅が増えました。しかしながら、手術できる患者さんは手術を選択されるほうが安全なのが現状でありMICS手術は今後、正中切開にとってかわる治療法であると思われます。



右腋窩開胸の創部：
大動脈弁狭窄症、閉鎖不全症に対して



左肋間開胸の創部：
冠動脈バイパス術に対して

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	瀬尾	佐々木	高橋	佐々木	尾藤
午後	瀬尾	佐々木	高橋(1,3週)	佐々木	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886 月曜～金曜 8:45～17:00

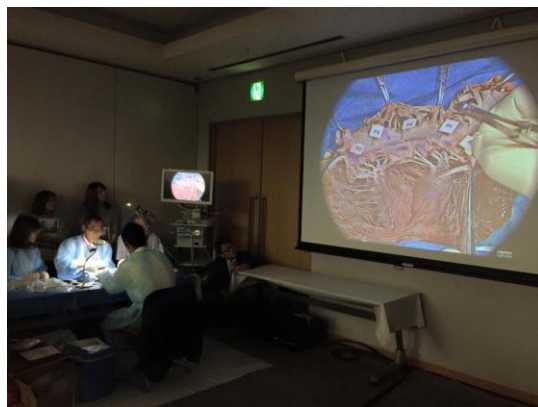
今号の循環器日記

大阪市立総合医療センター循環器センターでは、臨床に教育、そして研究を加えたこれら3つがバランス良く揃うことを目標とし、学会活動にも力を入れております。そして、研究の結果や学会で学んだことを実診療に最大限に活かすようにしたいと考えております。また、院内外での教育プログラムについても活発に取り組んでおります。

今年も5月30日から31日に大阪国際会議場にて、The Echo Live 2015という会を運営いたしました。The Echo Liveは、西宮渡辺心臓・血管センターの吉川純一先生、岡山大学の伊藤浩先生が代表世話人となり、私や桜橋渡辺病院の岩倉克臣先生、関西電力病院の石井克尚先生、東京ベイ浦安市川医療センターの渡辺弘之先生等が中心となって企画運営を行っている心血管エコーの教育プログラムです。今年で第14回となりましたが、500人を超える医師・技師の方々にお集まりいただき、熱気あふれる実り多き会になりました。ご参加いただいた方々には心より御礼申し上げます。

循環器内科 阿部幸雄

 **The Echo Live 2015**
基本から先進まで all for our patients!



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。